

# 地域連携だより

## 新病院 緩和ケア病棟のご案内

10月1日に新病院へ移転し、緩和ケア病棟は23床全室個室(有料個室11床、無料個室12床)になりました。全室個室になったことで、患者さん一人ひとりの時間をより大切に、リラックスして過ごしていただくことができます。



病室(全室個室)

### ご家族との時間

緩和ケア病棟の有料個室は付き添いで宿泊していただくことができます。デイルームにはご家族もご利用いただけるキッチンを設けています。患者さんにご家族が大切な時間を過ごしていただける病棟になっています。



キッチン

### 毎日の食事

患者さんのご希望や状態に合わせた食事や、食べたいものを選ぶことができるアラカルトメニューの「おこのみ食」を用意し、食べることを楽しんでいただく工夫もしています。

### 入院後の退院支援、その後の再入院について

さらに、当院では入院後に体調が落ち着き在宅や施設などへの退院のご希望があれば、かかりつけ医の先生方や地域のサービス担当者と連携を図り、患者さんやご家族の意向に沿った退院支援を行っています。そして退院後に体調悪化時も再入院の対応がスムーズにできるような体制を整えています。

種類	室料	部屋の仕様
有料室(11床)	13,000円+税	トイレ、シャワー付き
無料室(12床)	無料	トイレ付き

患者さんにご家族の思いと希望に寄り添う緩和ケアを心がけています。

## 緩和ケア病棟への申し込み方法

- ①電話でご相談下さい。
- ②当院緩和ケア病棟の申し込み書に紹介状を添えてFAXをお願いします。
- ③入棟面談日を調整し、ご連絡させていただきます。

申し込み書は当院ホームページよりダウンロードできます。

当院ホームページの「緩和ケア病棟面談申込書」をダウンロードし、ご利用ください。

## 新病院 薬剤課システム・設備のご案内

薬剤課では患者さんへより安全にお薬をお届けできるように、また患者さんへより快適な環境でお薬の情報提供をさせていただき、新病院では3つの新しいシステム・設備の導入を行っております。

### ① 薬剤システムを導入し、電子カルテシステムと自動分包機等機器類を連携しました

新病院から自動錠剤分包機などの機械類を新規導入し、電子カルテとシステム連携を行いました。

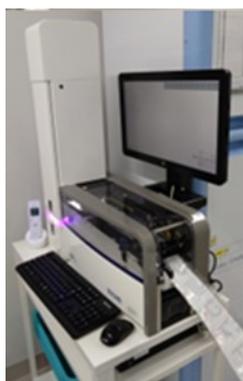
処方内容登録の自動化を行い、新たに導入したMDM（錠剤一包化鑑査支援システム）で一包化薬の写真を撮り、MDC（監査結果照会システム）で処方内容と一包化薬の相違がないか自動的に確認できるようになりました。これにより、従来は薬剤師のみのチェックであったものを、薬剤師のチェックと機械による自動確認のダブルチェックで安全性が飛躍的に向上し、正しい薬品を患者さんのもとへ渡すことができます。

#### 処方確認自動化の流れ



自動錠剤分包機

今回トショー制を新しく導入



MDM

一包化薬の写真を撮ります



MDC

バーコードで処方データを読み込みます

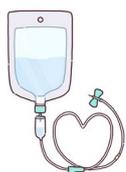


監査結果

一包化処方と処方データに差異があればエラー表示

### ② 無菌製剤室のクリーンベンチ・抗がん剤調整室の安全キャビネットを新しくしました

無菌製剤室のクリーンベンチ・抗がん剤調整室の安全キャビネットも新しくなりました。細菌汚染されやすい高カロリー輸液の調整を行う設備です。旧病院でも無菌調剤を行っていましたが、今後も細菌や異物による汚染の防止に取り組んでいきます。



クリーンベンチ



安全キャビネット

### ③ 医薬品情報室の環境を整え、患者さんに快適な環境でお薬の情報を提供できるようにしました

2階エレベーターを降りて左手（事務室の隣）に医薬品情報室があります。ここでは薬を適正かつ安全に使用するための情報を収集・整理・保管・情報提供などを行います。患者さんへ薬の情報提供も行っています。お薬について相談などありましたら扉横のインターホンを押してください。薬剤師が対応します。

